



【オリエンテーションと干潟調査】

令和2年7月4日（土）8:30 -12:00

場所：南三陸町自然環境活用センター

スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会
南三陸町自然環境活用センター



「今年みんなの目標は!？」

・コロナウィルスの影響で遅れていた活動が、ようやく開始されました!今年度、新メンバー(12名)での1回目の活動は、9名の隊員が参加し、オリエンテーションと折立の干潟調査を行いました。

オリエンテーションでは、自己紹介の後に今年の目標を発表し、町の良さを広めたい、鳥の名前を覚えたい、海の動物を調べたいなど隊員みんながそれぞれの目標をかかげました。



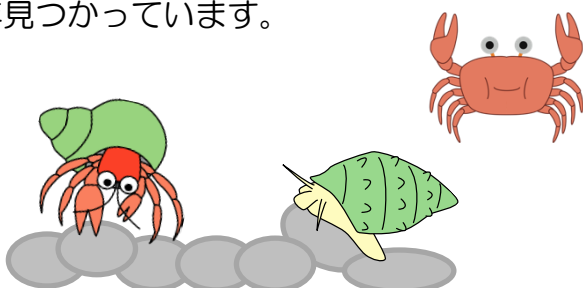
「調査前のレクチャータイム」

干潟調査を行う前に、タクゾー博士から去年の活動について報告がありました。内容は、調査隊が結成されてから壁新聞が環境大臣賞をとるまでの活動を、わかりやすくまとめたものでした。次に、干潟に生息する生きものとその役割についての説明を聞き、いよいよ野外調査の始まりです。



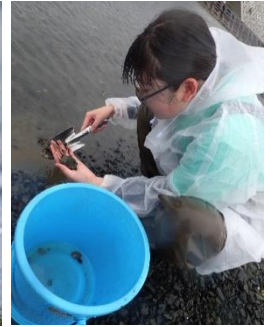
「折立海岸はどんな場所??」

・折立海岸は、ネイチャーセンターの目前に広がる海岸で、折立川の河口付近に位置しています。2015年に復旧工事で今の状態の人工干潟になって以降、約30種の生きものが毎年見つかっています。



「どんな調査をしたの？」

・干潟で生きものを見つける「3つのワザ」：①しゃがんで目線を近づける ②石の下や隙間をのぞく ③スコップを使って砂の中の生きものを掘り返す を使って折立海岸の生きものをできるだけ多く見つける調査を行いました。今回の調査は、あいにくの雨模様でしたが、いったい何種の生きものが見つかったのでしょうか？



「どんな生きものがいたの？」

・今回見つかった種類は、ナミイソカイメン、ヤスリヒザラガイ、クモリアオガイ、**イシダタミ**、クジャクガイ、マガキ、**アサリ**、ヤマトカワゴカイ、スナイソゴカイ、イワフジツボ、シロスジフジツボ、ユビナガホンヤドカリ、**ケフサイソガニ**、タカノケフサイソガニなど、合計で27種でした！

このうち、イシダタミ、アサリ、ケフサイソガニは、9人中7人以上が見つけた『優占種（ゆうせんしゅ）～折立海岸に多く住んでいる種～』になります（発見率が70%以上の種）。

※詳しい調査結果は、『ベントス調査表〔折立海岸（戸倉海岸）編〕 Ver.2 をご覧ください。



【テレビ放送のお知らせ】

今回の調査風景が、仙台放送にて7月4日（土）、ミヤギテレビにて7月8日の夕方のニュースで放送されました。仙台放送で紹介されたものは、以下のURLでもご覧になれます。

仙台放送：<https://nc.ox-tv.co.jp/news/detail/2020070400006>

【調査隊の壁新聞が こどもエコクラブ全国事務局ホームページに掲載！】

今年3月に参加予定だった「こどもエコクラブ全国フェスティバル」は、コロナウィルスの感染拡大の影響で中止になってしまいました。環境大臣賞を受賞し、この場で発表するはずだったみんなの壁新聞がここで紹介されていますので（2020年5月26日掲載）是非ご覧ください。交流する予定だった全国の代表エコクラブの壁新聞やメッセージも見る事が出来ます！

「紙上 こどもエコクラブ全国フェスティバル 2020～終結★私たちのSDGsアクション！～」

<http://www.j-ecoclub.jp/topics/info/202005261300.html>

【次回の予定】 8月1日（土）：八幡川の生きもの調査

今年も、志津川高校自然科学部のみなさんと一緒に、八幡川で生きもの調査を行います。みんなが暮らす町を流れる川で、たくさんの生きものを見つけましょう！絶滅危惧種など貴重な生きものも見つかるかもしれません。是非ご参加ください！

